

アイデアペイント クリエイト (白)

【施工要領書】

IdeaPaint JP 2015.10

2018.10 更新

※随時新しい情報を更新しています。入手後1ヶ月以上経過した場合は破棄し、新しいバージョンを入手してください。

- ・ 当商品の詳細

ホワイトボード塗料 アイデアペイント クリエイト（白） [2液硬化性エポキシ樹脂系塗料]

用量 800g（4～4.5㎡ぶん・ワンサイズ）

塗布量 200g/㎡、ローラー塗装 [※塗布量厳守] [※希釈厳禁]

耐用年数 約10年（施工条件・使用頻度・お手入れ状況によって寿命は変動します）

内部専用塗料（バス・キッチンなど水分や熱の影響を受ける場所は避けてください。）

- ・ 当商品の特徴

当塗料を塗り乾燥すると、ホワイトボードとして使用できます。ホワイトボードマーカーで繰り返し、書いたり消したりすることが可能です。いずれ汚れても、再塗装で再生できます。

※表面は塗料特有のゆず肌状です。多少のローラー跡やゴミの混入は避けられません。

- ・ 安全性

F☆☆☆☆取得（証明書あり）

GREENGUARD GOLD 認定

防火基準 ASTM E-84 Aクラス認定

※F☆☆☆☆証明書・SDS等各種資料は弊社HPよりダウンロードできます。

- ・ 適応下地と事前処理

（下地処理に使用する材料はキットには含まれません。一般的な塗装用下地材をお使いください。）

- ① 新しい石膏ボード（PB）

繋ぎ目がある場合、ジョイントを寒パテ処理

- ② 鉄板

鉄板は、塗装加工をしていないもの（またはボンデ鋼板）をお使いください。

繋ぎ目がある場合、ジョイントを鉄部用パテで処理

- ・ 下塗塗料

①の場合：一般的な水性シーラーの上、一般的な水性艶あり塗料（EP-G）白色を2回以上

②の場合：一般的な水性錆止め塗料の上、水性艶あり塗料（EP-G）白色2回以上

※下塗塗料は一般的な水性塗料を使用。特殊性のあるものは使用しないでください。

※水性艶あり塗料（EP-G）はアクリル系。必ず、白色の半艶～全艶を使用。

※アイデアペイント（白）は透過するため、必ず下塗塗料で白色をムラなく着色してください。

・ 施工手順

- (1) 事前処理 凹凸がある場合は平滑に整え、状態のよいベースを作ってください。
- (2) 養生 通常の塗装工事と同じ要領で養生します。
- (3) 下塗り
水性艶あり塗料（EP-G）は、必ず2回以上塗布してください。（吸込防止・色調調整のため）
吸込みや色ムラがある場合は追加で塗布してください。
アイデアペイント塗布までのオープンタイムは、必ず24時間以上空けてください。
- (4) 再養生
サンドペーパー（#240～#320）で足がかりをつけ、
アルコールを含ませたウエスで粉や汚れをしっかりと拭き取り、再養生します。
- (5) アイデアペイント塗装 1回
換気環境をよくします。
主剤（THAT）に硬化剤（THIS）を入れてよくかくはんします。
液をローラーに浸し、よく脱泡します。
まずハケで枠や細部を塗り、それを追うようにローラーで塗布していきます。
1缶 4～4.5㎡の容量を目安に、その場その場で（液垂れ寸前まで）たっぷり膜厚を付けていきます。
（膜厚が薄いと、消去性が悪いなどの不具合につながります。）
塗ると硬化が促進し、1分程度経過すると修正できません。

〈2キット以上使用する際〉
4～4.5㎡を1区画とし、テープなどで枠外に印をつけ1キット分の目安にします。
1キットずつ調合・塗布を繰り返します。
「調合・刷毛」と「ローラー」で2人1組で役割分担すると効率よく作業できます。
続いた面は手を止めず、時間を空けずに最後まで塗り切ってください。
ローラーは、2～3セット毎を目安に交換してください。
- (6) 養生除去
ピンセットで、付着したゴミなどを除去します。
塗装後、表面が乾く前に養生を除去します。
- (7) 乾燥
必ず4日間乾燥させてから、使用してください。

ホワイトボードの使い方

- ・ 規定のメンテナンスマニュアルに沿ってご使用ください。

〈書く〉 純正マーカー推奨

〈消す〉 純正消去用クロス（または純正イレイサー）推奨

〈クリーニング〉 純正クリーナー

※ 詳細は弊社 HP ([www. ideapaint. jp](http://www.ideapaint.jp)) 「メンテナンス」をご確認ください。

〈道具について〉

- ・ ローラーは付属のもの（9 インチ筒型）をご使用ください。
1 キットにつき1本の替え筒が付属しています。ハンドル（9 インチ筒型用）をご用意ください。
- ・ ローラーに相応の大きめのバケツ（L サイズ）をお使い下さい。
- ・ その他、養生用具・下地用具・ペーパー（＃240～＃320）・ハケ・軍手など、一般的な塗装に必要なものをご用意ください。

※材料の数量に余裕をもって準備してください。

※ゴミが混入した際に除去するため、ピンセットがあると便利です。

〈施工環境〉

◎ 最適環境 気温 20℃・湿度 50%

冬期は、エアコンのある環境下での施工を強く推奨しています。難しい場合はオープンタイムを長めにとるなどの対策が必要です。

- × 25℃以上の高温
- × 85%以上の高湿度（冬場や梅雨など高湿度期はエアコンをご利用ください）
- × 15℃以下の低温
- × 雨・風・水分・熱の影響がある場所
- × 直射日光の影響を受ける場所
- × ほこりの多い場所（天井や床等他箇所の施工を伴う場合は、最終工程での施工を推奨します。）

〈その他〉

当塗料は、二液硬化性で硬化が早いことや、膜厚をたっぷり付けることなど、一般的な塗料とは異なる部分があるため、施工者様が初めてご利用になる場合は、事前にテストされ、手順や感触を確認されておくことを推奨します。

スケジュールに余裕を持ってご計画ください。

施工の際には必ず、塗料に付属している「取扱説明書」をお読み下さい。